

## 代表質問

## 有明地域の中核都市としての力強い歩みを



動画視聴



自民・未来クラブ  
森 遵 議員

### 次期総合計画の ビジョンは

**問** 来年度は、次期総合計画を策定する年だが、どのようなビジョンを打ち出していると考えているか。

**答** 若者が安心して働ける雇用の場を増やし、子育てや教育環境を充実させ、人材と地場企業の成長による好循環を生み出し、安心・安全で魅力あるまちづくりを市民等と共有できる計画策定を進めたい。

**再発言** 個々の政策については賛成だが、長年の財政難により、最近は大牟田の特徴や土地柄を活かした大きなビジョンが打ち出せていない。有明地域の中核都市としての位置づけを明確にしたビジョンを次期計画では策定されたい。

### 排水対策基本計画の実施は、 費用よりも効果最優先で

**問** 排水対策基本計画（原案）の目標設定について伺う。

**答** 令和2年7月豪雨のような大規模な災害から、市民の生命・財産を守る災害に強いまちを目指す。そのため、今後20年間で床上浸水被害を少

なくとも半分以下に抑えることを目指す。

**問** 残る半分の浸水への対応はどう考えているのか。

**答** 20年の計画期間完了前に次の計画を

策定し、重点的な対策を行う。

**再発言** 今後、実際の大雨時の被害状況に合わせ、20年の間でも、計画を追加されたい。

**問** また、計画の実施にあたり、優先順位はどう決めるか。

**答** 実施中の事業はさらに加速化させ、新規や未着手事業は、経済性、効果性、実現性を総合的に評価し、早く実現でき、大きな効果が上がる事業から実施していく。

**再発言** 費用よりも、効果を優先してほしい。

**問** 本年7月の浸水地域は、特に優先するべきではないか。

**答** いろいろな要因がクリアできれば、効果の高いところは当然実施していく。



弱点箇所の抽出(計画案より)

**問** 大牟田川には、以前より県の整備計画があるが、抜本的な対策となると、諏訪川、堂面川、隈川でも整備計画が必要ではないか。

**答** 必要な整備は、現在行わ

れているが、近年の降雨特性に対応した計画が必要と考えており、県と協議したい。

**問** 計画実施のための予算の見通しと財源についての考え方はどうか。

**答** 短期対策として5年で約110億円、中期対策として15年で220億円を見込んでおり、国の補助金等の有利な財源を最大限活用したい。なお、市の実質負担は、企業局が行うポンプ場等の整備や緊急災害防止事業債を活用できる事業では3割、一般会計の河川整備では5割弱となっている。

**問** 市民への説明はどのように行うか。

**答** 校区まちづくり協議会などとも相談し、各地域において丁寧な説明を行いたい。

### AI・IT産業の振興は これからが本番

**問** イノベーション創出事業の滑り出しは上々だが、今後どのように発展させていくか。

**答** IT関連企業の誘致、産学官や金融機関で構成するイノベーション推進協議会の設置による新ビジネスの創出やデジタル人材の育成、地域課題解決に取り組む。また、本市のものづくり企業へ研究開発機能の創出も働きかけたい。

**再発言** 本事業は、今後伸びていく新しい雇用の受け皿としてのAI・IT産業起こしの始まりであり、企業だけでなく大学なども含め、しっかりとしたビジョンと誘致戦略を立ててほしい。